

進路

だより

No. 26

保護者の方にも必ず見せてください

貝塚市立第二中学校
2013年9月9日発行

学校説明会・体験入学等の案内 vol.23

公立高等学校等

◎大阪府立貝塚高等学校 ○オープンキャンパス

第1回 10/26(土) 8:45~12:00 体験授業・クラブ体験(または校内見学)

【希望者は実施要項を担任からもらってください。申込み期限は9/27(金)まで】

第2回 12/7(土) 8:45~12:00 体験授業・校内見学(クラブ体験はありません)

【希望者は実施要項を担任からもらってください。申込み期限は10/31(木)まで】

◎大阪府立佐野高等学校 ○学校説明会・体験授業・クラブ見学 10/26(土) 14:00~16:00

【申込み方法: インターネット佐野高校のホームページを開いて、「中学生のみなさんへ」の画面から、生徒または保護者が個人で申し込んでください。申し込み期間は9月16日(月)から9月30日(月)です。】

◎大阪府立岸和田高等学校 ○学校見学会 11/9(土) 13:30 受付、14:00 開始

【申込み方法: インターネットの岸和田高校ホームページより個人で申し込んでください。】

※定員に達し次第、早めに締め切られる場合があります。希望者は、すぐに申し込みを!

◎大阪府立汎愛高等学校 ○「普通科」「体育科」「武道科」体験入学

11/16(土) 13:00~17:00 雨天実施(ただし暴風雨警報発令時は11/23に延期)

【希望者は実施要項を担任からもらってください。申込み期限は10/31(木)まで】

私立高等学校

◎阪南大学高等学校 ○オープンキャンパス 10/26(土)、11/9(土) 13:00~【予約不要】

○個別入試相談会 11/24(日)、12/1(日) 10:00~15:00【予約不要】

暇と退屈と熱中と

宿題テストが終わりました。2学期は、行事にテストに、とても忙しい学期になります。これからの時間の過ごし方で、今後の人生も大きく変わってきますね。「忙しい」ということは、案外幸せなことらしいのです。「え？ そんなはずない！！??」

最近聞いた話の中で、「暇」と「退屈」の違いの話がありました。「暇」というのは、時間的な自由があることなので、良いことなのですが、「退屈」は、気持ちの問題で、やることがなくて良くない状態だそうです。人間にとっての最大の敵は、なんと「退屈」だそうです。

人間はやりたいから何かをする場面もあるけれど、ほとんどが「退屈」を紛らわすために、何かをする場面が多く、決してそれは主体的な行動ではないというものです。どうでしょう？

退屈しのぎにテレビをついつい見てはいませんか？ 退屈しのぎについつい携帯やスマートフォンをさわっていませんか？ 退屈しのぎについついテレビゲームをしていませんか？ 退屈しのぎについついお菓子を食べていませんか？ 退屈しのぎについついスーパーをうろうろしていませんか？ 退屈しのぎについつい授業中に私語をしていませんか？ 退屈なのでついつい授業中に寝てしまっていないですか？ それらは本当にあなたが心からやりたいことですか？

「退屈」の反対は、「熱中」です。時間や食事を忘れるくらい熱中することはありますか？ スポーツ。趣味。そして勉強。「何かのために」というよりは、「やることそのものが楽しい」ということはありますか？ 学校生活の中では、「クラブ」や「行事」は「熱中」しやすいことの代表です。実は「熱中」しているとき、人の能力は伸びます。目的がないからこそ、心の底から真剣になり、能力が伸びるのです。

今の時期、「勉強」というと、「高校受験のため」というのがその目的になりやすいですね。でも本来「勉強」は、目的がなくても楽しいことなのです。つらいことばかりではありません。実は、人間は知的好奇心のかたまり。知らないことがわかるようになるというのは、本当は一番脳が喜ぶことだそうです。皆さんも「わかった時、すごくうれしかった経験」があると思います。テレビで最近よく紹介される「アハ体験」もそうです。

知的好奇心を満たすことが「勉強」ならば、たとえば、登山家は命の危険があるのにもかかわらず山登りをし、宇宙飛行士はロケットに乗り込みます。これも他人が体験できないようなことを知るための「勉強」です。そのために専門的な知識を身につけ、体をトレーニングして鍛えます。

ですから、大人になって仕事を選ぶとき、「何かのために」というよりは、「仕事そのものが楽しい」というのが理想です。「知らないことがわかる」「できないことができるようになる」という点では、仕事も本当は楽しいものです。

その基礎は中学校の学校生活の中にあります。それも「仲間と共に」その経験ができます。「行事」も「勉強」も、みんなで「熱中」してみませんか？